

事業計画書

事業名	食品ロス削減推進事業 食の未来を考える「もったいない」の一步先へ
団体名	SA-MO17(サーモセブンティーン)

1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

生産者から消費者にいたるまで一人ひとりが食品ロスの問題を自分事として捉え行動を変化させるきっかけ作りを目的とする。食の未来に向けた食品ロス削減に向けた学習、啓発活動としてサルベージ調理を提案し食材を使い切る体験と学習機会を提供する。また収穫体験や青空レストランを開き生産者と消費者が直接繋がる機会を作る。体験や学習を通して食品ロス削減に関心を持つ人同士が繋がりやすくなること、誰もが食材を捨てたくないと感じ地球に優しく、楽しく、美味しく、丁寧に食べきるようになることを目指す。

2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

- ・食料を海外からの輸入に大きく依存(食料自給率約4割)
- ・国内年間1,700万トンの食糧廃棄物のうち食品ロスは年間500~800万トン
- ・家計の食費が消費支出の1/4

このように問題の規模の大きさから一般家庭では食品ロスの問題を自分事として考えたり、向き合うきっかけが少ないのが現状。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記1と2の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- ・根本的な問題意識の低さ
- ・各家庭の食品ロスに対する取組不足
- ・学習機会・啓発活動不足
- ・活動が点在し連携が不足している。救済した食品を循環させる仕組みが必要。

4 計画の概要と対象者

上記3で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150字以内で簡潔にまとめてください(計画の詳細は下記5に記入してください)。

一般市民を対象とした学習機会の提供と啓発活動を次の2つの形式で取組む。

食品ロスを活用した調理実習を交えた講座の実施

「みんなで作って食べよう!あまり食材で一汁一菜サルベージクッキング」

「旬を残さず食べよう!料理の会」

「備蓄食リメイク料理教室」等

生産者と消費者を繋ぐイベントの開催

「収穫体験&青空レストラン」

5 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

1. 食品ロスを活用した調理実習を交えた講座

食品ロス削減に興味関心のある人を対象にライフパーク倉敷、水島地区公民館で年間8回程度サルベージ調理講座を実施する。各講座では調理の体験に講話をプラスし各家庭での食品ロス削減の取組みやすさに留意し企画する。

- (1) 家庭のあまり食材を活用した調理講座
- (2) 旬の規格外農産物を活用した調理講座
- (3) 非常食やストック食材を活用した調理講座
- (4) 保存食や常備菜を学ぶ調理講座
- (5) 一汁一菜を基本とした食育講座

2. 生産者と消費者を繋ぐイベントの開催

地元の食材やその活用、調理、自家菜園、農業に興味関心のある人や家族を対象に真備の農家「紺屋農房」で春夏秋冬各季節の農産物が豊富な期間に年4回程度収穫体験と青空レストランを開催する。野菜が育つ背景を知り、自分の手で収穫、美味しさを体感し、参加者全員で分かち合う体験をする。生産者と消費者が直接交流し食に対する考え方を深める場をつくる。

(2) スケジュール(準備～実施～報告)

5月	収穫体験&青空レストラン サルベージ調理講座
7月	収穫体験&青空レストラン サルベージ調理講座
8月	サルベージ調理講座 サルベージ調理講座
9月	サルベージ調理講座
10月	サルベージ調理講座
11月	収穫体験&青空レストラン サルベージ調理講座
12月	収穫体験&青空レストラン サルベージ調理講座

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験
秋山 京子	
大西 理恵	
徳田 昇	
秋山 瑳和	
大西 萌花	
10名を超える場合は、外 名としてください	外()名

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
受益者負担		41,000	
会費からの繰入		30,000	
その他		0	
市補助金		150,000	
収入合計		221,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
人件費(会員)※1		0	
交通費(会員)※1		0	
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	講座講師料	43,000	@5,000×8回・予備費3,000
	出張シェフ料	60,000	@10,000×4回・予備費20,000
旅費交通費(講師等)		60,000	@10,000×4回・予備費20,000
消耗品費	用紙・インク	10,000	A4@300×1冊・インク@4,850×2本
印刷製本費		0	
通信運搬費		0	
保険料		12,000	
使用料・賃借料	会場使用料	36,000	@4,400×8回
外注費・委託費		0	
対象経費計		221,000	
食糧費		0	
人件費		0	
その他		0	
対象外経費計			
支出合計		221,000	(収入合計と一致)

※1: 会員に支払う人件費交通費は、協働事業部門のみ計上でき、その合算額は対象経費計の1割を上限とする。

※2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

組織運営体制

団体名	sa-mo17
ふりがな	さーもせぶんていーん
法人格(をつけてください)	任意団体・NPO法人・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他()
CANPAN 登録の有無	有 ・ 無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト
以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。

新規チャレンジコースに申し込む団体は, 情報のある項目のみ記入してください。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2021年9月(西暦)	
法人格取得年月	年 月(西暦)	
事務所所在地		
代表者	職・氏名	代表・秋山 京子
	電話番号	
ウェブサイト URL	http://	
活動地域	倉敷市水島地区・真備地区	
役員数・職員数計	5名(役員3名, 会員2名)	
設立年月	2022年12月	
活動分野 (該当に をする) (複数回答可)	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援・地域・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・ITの推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他()	
活動目的 (規約等に定めるもの)	生産者から消費者にいたるまで一人ひとりが食品ロスの問題を自分事として捉え行動を変化させるきっかけ作りを目的とする。 また、食品ロス削減に関心を持つ人同士が繋がりがやすくなること、誰もが食材を捨てたくないと感じ地球に優しく、楽しく、美味しく、丁寧に食べきりようになることを目指す。	

(様式第4号)

設立以来の主な活動実績	2022年7月30日 倉敷路地市場でミニトマトすくいイベント 2022年7月31日 倉敷東町の町家でマルシェを開催
現在特に力を入れていること	

2 団体概要と財政状況

団体の活動・業務 (事業活動の概要)	
今後の活動の方向性	<ul style="list-style-type: none">・生産者と消費者をつなぐイベント開催・家庭の食品ロス削減の第一歩としてサルベージ調理を推進
最新決算総額 (該当に をする)	100万円未満・100～500万円未満・500～1,000万円未満・1,000～5,000万円未満・5,000～1億円未満・1～5億円未満・5億円以上
定期刊行物	なし

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	なし
他NPO・市民活動団体との協働実績	なし
企業・団体との協働実績	なし
行政との協働実績(委託事業など)	なし